

掲示板

第46回研究会 XPS-WG 定量グループ議事録

XPS ワーキンググループ

日 時：2016年2月19日 13:30-15:30

場 所：大阪大学 中之島センター 講義室 507

参加者：岡島 (NAIST), 速水 (日鉄住金テクノロジー), 島尾 (菱電化成), 西田 (古河電気工業), 安野 (高輝度光科学研究センター), 水澤 (富士通クオリティ・ラボ), 原田 (法政大), 木部 (神鋼溶接サービス), 大村 (東北大) (敬称略)

記 録：大村

●西田氏の発表内容, 質疑についてのまとめ

- ・Wagner と ISO の流儀について考え方, 立場の違いをもっと詳しく説明すべき
→ 二つの流儀の優劣を決めたいように聞こえてしまう.
- ・現段階では ISO の流儀として ARSF しか求めている。λ が考慮されていないので, 同じ土俵で議論できるものではない
→ ERSF, AMRSF まで算出して初めて議論できるのではないか.
- ・今回の発表内容については, 田沼さんからのコメント通り, 有機物の C と O の RSF を求めたことを結論として良いのではないか
→ 優劣の比較ではなく, 2つの考え方の理解を深めるのが目的. Wagner の流儀と ARSF とは異なることを理解する.

●今後のデータ解析について

- ・ERSF, AMRSF を算出する
- ・λ の計算が必要
→ 価電子の数え方, バンドギャップの値が問題 文献等調査.

●次の報告 (PSA-16) に向けて

- ・イントロ部分を丁寧に説明する
→ Wagner の経験知について, 表現が難しい日本語の文章をなくし, 式で説明する.
- ・ERSF と AMRSF も求めて比較する
→ GW 空けを目途に計算に取り組み, メールベースで打合せ
- ・C, O を含む無機化合物の測定
- ・C, O を含まない系の測定
→ Li_2SiF_6 , Na_2SiF_6 , K_2SiF_6 であれば在庫あり (毒劇物指定されているので取り扱い注意). できれば, Wagner が使った CoSiF_6 , NiSiF_6 も欲しい.
→ 固定方法, 帯電補正等検討必要